

# 平成28年度 県立美術館展覧会等計画

区分	平成28年(2016年)										平成29年(2017年)			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
展覧会	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>1945年±5年 激動と復興の時代 時代を生きぬいた作品</b> 5月21日(土)～7月3日(日) (38日間)</p> <p>1940年から50年までの間に制作された作品(洋画を主とし、素描、日本画、彫刻も含む)を展覧します。1940年代は、前半がアジア・太平洋戦争の時代、後半が連合国軍によって占領された時代です。激動の時代を大きく反映した作品もあれば、時代から距離を取ったものもあります。出品作家は、藤田嗣治、小磯良平、香月泰男、水木しげるら、約70名。</p> <p>【主な出品作品】 ・小磯良平「斉唱」 ・松本竣介「議事堂のある風景」等</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>生誕130年記念 藤田嗣治展 一東と西を結ぶ絵画一</b> 7月16日(土)～9月22日(木・祝) (59日間)</p> <p>エコール・ド・パリの人気画家として活躍し、続く戦争の時代を、日本において壁画や戦争画を描く画壇の第一人者として過ごした藤田嗣治(1886-1968)の回顧展。遺族から仏・ランス市に寄贈された800余点の中から選び抜かれた作品と、国内外の主要な美術館、所蔵家から拝借した作品を展示します。</p> <p>【主な出品作品】 ・「自画像」等</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>世界遺産 ポンペイの壁画展</b> 10月15日(土)～12月25日(日) (62日間)</p> <p>古代ローマ時代、繁栄を謳歌していた都市ポンペイ。西暦79年、火山の大噴火という悲劇に見舞われます。地中に封じ込められたことで奇跡的に保存された壁画は、今なお鮮やかな色彩を保っています。ポンペイとその近郊から出土した2000年前の絵画が一堂に会します。</p> <p>【主な出品作品】 ・「赤ん坊のテレフォスを発見するヘラクレス」 ・「踊るマイナス」等</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>アドルフ・ヴェルブリ展</b> 1月11日(水)～2月26日(日) (41日間)</p> <p>世界的に注目を集めるアウトサイダー・アート／アール・ブリュットの芸術家の中でもトップクラスの知名度を誇るアドルフ・ヴェルブリ(1864-1930)。スイスのベルンにあるアドルフ・ヴェルブリ財団の全面協力を得て、日本初の本格的回顧展を開催します。戦前のシュルレアリスムの画家たちなどにも影響を与えたその画業をたどるまたとない機会です。</p> <p>【主な出品作品】 ・「聖アドルフ＝王座＝アルニカ」等</p> </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>新宮 晋の宇宙船</b> 3月18日(土)～5月7日(日) (44日間)</p> <p>三田市にアトリエを構える新宮晋は、風や水など自然の力で動く作品で世界的に知られる彫刻家です。本展は、新作のモビール(動く彫刻)を中心にマーケット(彫刻の試作のための雛形)、絵本の原画、屋外彫刻やプロジェクトの映像なども交え、新宮の世界を総合的に紹介します。</p> <p>【主な出品作品】 ・「星空」等</p> </div> </div>													
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>小企画:中西 勝展 画業と生涯を偲んで 一兵庫県所蔵作品を中心に― 特集:黒のひみつ 美術の中の黒をめぐる</b> 3月19日(土)～6月19日(日)(80日間)</p> <p>神戸に住み2015(平成27)年5月に逝去するまで兵庫県の芸術・文化の中心であり続けた画家、中西 勝の豪胆と繊細を併せ持つユニークなその人柄と画業を偲ぶ小企画展をあわせて開催します。 また、黒色をめぐるさまざまな表現を当館の所蔵品からピックアップしてご紹介します。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>小企画:美術の中のかたち 一手で見る造形(仮称) 特集:新収蔵品紹介(仮称)</b> 7月2日(土)～11月6日(日)(110日間)</p> <p>小企画は、毎年恒例の作品に触れることのできる展覧会。今回は、視覚に障がいのある方々にご協力いただき、その感覚世界を通して作品を「見る」ことを試みます。 平成27年度、近代美術の名品から、現代作家による斬新な表現まで、幅広い作品が館蔵品に加わりました。特集では、既存の当館コレクションとともに、テーマに沿ってご紹介します。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>かんべえ 小企画:ハナヤ勘兵衛の時代デェ!!(仮称) 特集:彫刻大集合(仮称)</b> 11月19日(土)～3月19日(日)(95日間)</p> <p>小企画では、戦前から兵庫県芦屋市を中心に長く活躍した写真家のハナヤ勘兵衛の戦前のウィンテージ・プリント作品を、同時代の芦屋カメラクラブ有志の作品らとあわせて展示し、地元の生んだ類まれな才能とその軌跡をご紹介します。 特集では、近代の巨匠から現代の作家にいたるまでの彫刻および立体作品に焦点を当てた展示を行います。</p> </div> </div>													
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>2016県展</b> 8月6日(土) ～8月21日(日) 会場:県立美術館ギャラリー</p> <p>県内で美術制作に励む方々の発表の場としての公募展。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>チャンネル7 高橋耕平展(仮題)</b> 10月15日(土) ～11月20日(日)</p> <p>注目作家紹介シリーズ。 主に映像による作品の制作と発表を続ける高橋耕平を紹介。</p> </div> </div>													
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサート</li> <li>・映画会</li> <li>・「KEN-Vi文化セミナー」</li> <li>・こども向けプログラム</li> <li>・美術講座</li> </ul> <p>館内の様々なスペースを活用したコンサート 「KEN-Vi名画サロン」「県美シネマクラシック」等の映画上映会 県内外の著名な文化人を講師に招いたセミナー 小中学生を対象とするワークショップ「こどものイベント」や解説会やおやこ絵画大会等 日本画、洋画など作品づくりの実技講座</p>													